

2020年5月8日

新型コロナウイルス感染症がもたらす地域の困難を、  
医療生協の協同の力で乗り越えていきましょう！

奄美医療生活協同組合  
理事長 杉原 雄治

#### ～組合員のみなさん～

新型コロナウイルス感染症がもたらした、いのちと健康への不安、医療体制への不安、急激な経済活動縮小による生活への不安は奄美地域においても大きな影響が出ています。

私たちがかつて経験したことのない困難に対し、奄美医療生協としても日々の状況の変化に機敏に対応しながら、全職員・地域組合員の皆さん一丸となって以下の取り組みをすすめていきましょう。

#### ～いのちと健康を守る対応をしましょう～

自分自身と大切な方のいのちを守る対応を行いましょう。不要不急の外出及び密閉・密集・密接の三密を避け、栄養と休息をしっかりとって下さい。自宅では手洗い・うがいを励行しましょう。

外出が減り運動不足も心配されます。ラジオ体操、フレイル予防体操など自宅で体を動かし体調管理に努めましょう。

#### ～ひとりぼっちの組合員をつくらない、

#### 地域で社会的孤立をつくらない取り組みをしましょう～

健康づくりやまちづくりをひろげる医療生協の組合員活動は当面自粛しますが、担当役員と支部長と打ち合わせを行いながら各支部の実情にあわせて、今できる取り組みを模索していきます。地域活動が制限され人との交流も難しくなっています。つながりのある方、特に一人暮らしの方への困りごとが無いかの声掛け、フレイル予防体操の声掛けなど声掛けをひろげていきましょう。

#### ～必要な医療をきちんと受ける保障、

#### くらしを守り、偏見や差別を許さない取り組みをしましょう～

マスクや消毒液は全く足りません。必要な医療・介護体制をまもるための財政含めた支援、休業や営業自粛により生活が立ち行かなくなっている方への経済支援、必要な治療を継続するための医療費減免など、政府がしっかりと取り組むことを求めています。

新型コロナウイルス感染者や家族、医療・介護従事者や家族への差別的な対応や偏見が報道されています。大変な時だからこそ、私たちの理念“地理的な離島があっても人の生命（いのち）に離島があってはならない”を再確認し地域の中で広げていきましょう。

#### ～組合員のみなさん～

奄美医療生協は、組合員・利用者・職員を守るための対策を日々進めています。医療生協組合員の連帯と協同の力で乗り越えていきましょう。